

【地区活動報告】

RAC リーダーシップフォーラム



地区ローターアクト委員長 高橋 佳寛

9月3日日曜日、岸和田市まどかホールにおきまして、2023-2024年度地区ローターアクトリーダーシップフォーラムを開催しました。



谷ガバナーを始めとするロータリアンの方々そして各ローターアクトクラブ会長やアクターが集まりました。

奥野地区ローターアクト代表から、所信表明と共に今年度地区ターゲットとして、「ACT GLOCALLY」が表明され、地区役員の紹介が行われました。



また、各クラブの活動目標や今のクラブ内の現状報告を行いました。

第二部では参加型の心理的ゲームを行ないロータリアン、アクターと一緒に大変盛り上がり短い時間ではありましたが懇親を図ることができました。



地区行事としては参加人数は少ないなりにアクターの皆さんは工夫を凝らし有意義な時間となりました。

ローターアクトは、近年会員減少の傾向が続いておりますが、メンバー全員で知恵を絞り、様々な手法にて会員増強を目指すと共に、より魅力的なローターアクト活動を行って欲しいと私は願っております。



【地区活動報告】

米山カウンセラー研修会
カウンセラー、クラブ米山委員長 合同会議



地区米山記念奨学委員長 **新本 憲一**

9月10日泉大津市内のホテルレイクアルスターアルザ泉大津にて秋のカウンセラー研修会とカウンセラー・クラブ米山委員長 合同会議を開催しました。

秋のカウンセラー研修会は任期の半分の期間が経過しようとしている時期に行います。改めて米山事業の意義やハラスメントの事、今後の行事予定などをお伝えし、参加学友との座談会を通してカウンセラー様の疑問や奨学生対応などに対し、学友の体験をお伝えしました。



続いてのカウンセラー・クラブ米山委員長 合同会議では、米山委員長の新本より米山記念奨学委員会活動について、学友小委員長納谷より奨学生・学友の現状について、参加学友より「米山世界大会・再開in関東に参加して」の感想、寄付増進小委員長永楽より寄付増進についてお伝えしました。



当地区の2022-2023年度寄付の集計では、寄附額合計は全34地区中26位・1人当たり寄附額では13位です。しかし総寄附額が地区所属奨学生の奨学金合計を下回っておりさらなる寄付増進が必要です。皆様

のご協力をお願いします。10月の米山月間以降、多数のクラブに奨学生卓話を派遣します。できれば奨学生卓話にはニコニコの分を米山特別寄付にさせていただけたらと思います。

最後になりましたが、米山世界大会・再開in関東にて上映の学友制作動画「奨学生の1年とその後」をユーチューブにアップしております。ぜひ御覧ください。



<https://youtu.be/qlKtRup1-nk>

【地区活動報告】

地区国際奉仕委員会

地区国際奉仕委員長 古谷 典子



8月5日(土)和歌山市に於て地区委員にお集まり頂き、今後の活動や計画について、意見交換等を行う国際奉仕委員会を開きました。

- ① 国際平和のために国際奉仕では、主な活動として人道支援、教育支援が行われていますが「文化(親睦)」を加えて、交流で互いの国の伝統や価値観を紹介し合える奉仕プロジェクトが立案できます。世界中で戦争や紛争が起こっているこの時こそ、「文化」も平和に寄与するという意見で纏まりました。
- ② 他地区で盛んな活動のある国際奉仕委員長等をお招きして、各クラブの委員長会議を検討いたします。(未定)

各クラブの皆様の従来の活動で築かれた国際奉仕の継続と合わせて、今年度へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



国際的なイベントから、財団主催夕食会や研修セミナーまで、ロータリーには、会員とその家族や友人が集まってアイデアや意見を交換し、新たな出会いや異文化交流を楽しむことのできるイベントや行事が数多くあります。



【地区活動報告】

インターアクト国際交流親睦会



地区インターアクト委員長 坂東 剛

9月24日(日)、初芝立命館中学校高等学校に於いて「国際交流親睦会」が開催されました。

この催しは、「異文化について学び、国際感覚を養う」を目的に毎年行われています。

今年も、公益財団法人AFS日本協会の留学生を招き、米山記念奨学委員会の応援を頂きました。



参加者は、インターアクター・顧問107名、ロータリアン20名、留学生4名、米山奨学生・米山学友19名の総勢150名。

プログラムは、米山奨学生によるプレゼンテーション「わたしについて」で始まり、世界の食を知る事を目的とした「インターナショナルLUNCH」で、6か国の弁当を頂きました。



「インターナショナルLUNCH」で、6か国の弁当を頂きました。



昼休憩時間を利用して、留学生・奨学生に日本の娯楽文化を知ってもらいたく「日本の遊びを一緒に」、音楽演奏で盛り上がりたく「新音楽研究部ライブ」が披露されました。



午後は、メインプログラムの「グループトーク」。インターアクターを24班に分け、各々に留学生・奨学生が加わりディスカッション。留学生・奨学生の自国の話には、インターアクター皆が興味津々で盛り上がりました。その盛り上がりを見て、間近に出向き一生懸命耳を傾けるロータリアン。その光景も、盛り上がり拍車を掛けました。

今回の企画は全て、アクターだけで考えたものだそうです。朝の受付け、来場者の誘導、安全管理のSP(?)配置、司会進行役のお二人(男性と女性)は、浴衣を着て会場に華を添えてくれました。申し分ないホスピタリティ、お世話下さった初芝立命館中高・初芝富田林中高インターアクトクラブの皆さんに感謝です。

